

ひまわり

令和5年1月31日
北九州市立黒畑小学校
校長 濱小路 啓之

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)」に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

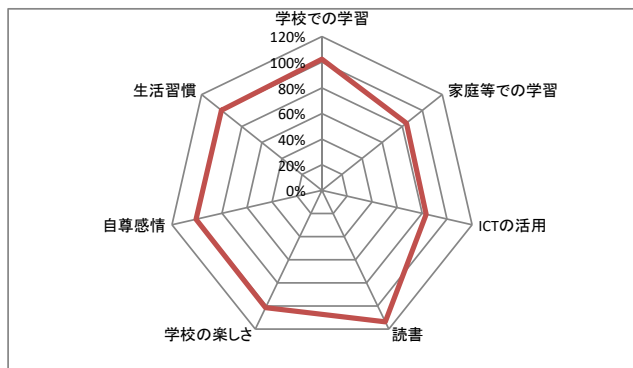
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	全体的に平均正答率をやや上回っている。特に「我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」の問題が全国平均を上回っていた。	上回っている。
算数	全体的に平均正答率をやや上回っている。特に「数と計算」と「図形」の問題が全国平均を上回っていた。	上回っている。
理科	全体的に平均正答率をやや上回っている。特に「生命」を柱とする領域や「思考・判断・表現」の問題が全国平均を上回っていた。	上回っている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- 「読書は好き」と答えた児童の割合が全国平均を大きく上回っている。継続して、朝自習で読書活動に取り組んでいることが、数値に反映されている。
- 総合的な学習の時間では、「地域の川やホテルの育成」(3年生)、「地域の年長者について」(5年生)等、地域について追究する学習に取り組んだ。その成果が「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童の割合が、全国平均を大きく上回っている。
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしています」と肯定的に答えた児童の割合が、全国平均をかなり下回っている。宿題の量や内容についての工夫が必要である。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 朝自習(黒畑タイム)を活用し、国語や算数の復習、発展問題に取り組み、基礎的、基本的な学力の定着を図る。
- 校内研修を行い、「子どもが見通しをもってが学習できる」「子どもが考えを深める話し合い活動」「子どもが考えが書ける振り返り」ができる授業づくり・授業改善に努める。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 学年の発達段階に応じて、宿題の量や内容を工夫して家庭学習の定着を図るとともに、学校だより、学年通信等で家庭への啓発と連携を図る。
- 黒崎中学校区4校統一ルールを学期ごとに全校児童に周知徹底し、中学校への移行をスムーズに促す。